



平成 23 年 3 月期第 3 四半期 マイルストーン開示
(当社事業計画の進捗状況等について)

平成 23 年 2 月 14 日

上場会社名 株式会社ユビキタス
(URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>)

(コード番号 : 3858)

問合せ先 代表取締役社長 家高朋之
経理財務部長 榎木玲子

TEL : (03) 5908 — 3451

平成 22 年 5 月 21 日発表、平成 23 年 2 月 4 日修正のマイルストーン開示に係る事業計画の第 3 四半期末時点における進捗状況について、以下のとおりお知らせします。

1. 第 3 四半期末時点における今期事業計画の達成状況

[今期事業計画の達成状況]

・通期業績予想と実績の比較表 (百万円)

区 分	通期業績予想	実 績	達成率 (%)
売 上 高	1,320	1,058	80.2
営 業 利 益	560	551	98.4
経 常 利 益	560	553	98.9
当 期 純 利 益	336	324	96.5

・形態別売上高の予想と実績 (百万円)

区 分	通期業績予想	実 績	達成率 (%)
使 用 許 諾	1,084	924	85.3
サ ポ ー ト	57	47	82.9
受 託 開 発	179	86	48.3
合 計	1,320	1,058	80.2

なお、分野別売上高については、顧客企業との守秘義務の関係で、顧客数及びプロジェクト数の少ない四半期においては開示を差し控えております。そういった障害がなくなった時点で分野別売上高を開示する予定ですが、第 4 四半期終了後には通期のマイルストーン開示にて開示する予定です。

(季節性について)

当社事業の特徴として、ゲーム分野の比重が高いために業績に季節性が存在します。

通常、第 1 四半期は、売上高が少なく、第 3 四半期の年末商戦に向けて漸増する傾向があります。ただし、大型ゲームソフトの発売時期によって季節のピークは変動する場合があります。また、受託開発については、顧客であるメーカー各社の予算サイクルに従っているため、上期末である第 2 四半期及び下期末である第 4 四半期に売上高が集中する傾向があります。

[今期事業計画の達成状況に関する定性的情報等]

(1) 総括

当第3四半期につきましては修正後の通期業績予想に対して売上高で80.2%、純利益で96.5%の達成率となり、当初の見込みを上回るペースで進捗しております。形態別の内訳は、ソフトウェア使用許諾売上高924百万円、サポート売上高47百万円、及び受託開発売上高86百万円となりました。

(2) 第3四半期末時点における研究開発及び事業開発の進捗状況について

① ワイヤレス・ネットワーク

ユビキタスネットワークにおいて重要な要素技術であるワイヤレス接続において、「小さく、軽く、速い」ソリューションを提供することを目標に研究開発活動を行っております。

平成22年11月には、株式会社村田製作所とセンサーネットワーク製品開発で協業の旨の発表を行い、同12月の組込み総合技術展にて展示を行いました。特に、センサーなど通常ではワイヤレスの機能を付加するのが難しい機器を対象として「Ubiquitous Network Framework AIR NOE Solution」の機能強化や改良、802.11n規格などの更に広帯域無線LAN技術への対応も進めております。

量産製品への搭載を目指し、半導体メーカーやモジュールメーカーと共同での取り組みを推進します。

② AV機器のネットワーク対応

昨年度完了した基本的な研究開発に基づく成果として、国内大手電機メーカーのレコーダーに搭載された「Ubiquitous Network Framework AV NOE Solution」及び国内大手電機メーカーのデジタルテレビに搭載された「Ubiquitous DTCP-IP」が引き続き好調に量産ロイヤルティを獲得しております。また、既にご採用いただいた案件において、次年度以降モデルでの継続採用に向けた性能改善・機能拡張を引き続き行いました。

応用的な研究開発として、既存規格の改訂や新機能追加等に対応すべく開発を継続し、対応プラットフォームの拡充などにより、他の機器への採用拡大と売上高増大を目指します。

③ ネットワーク対応ゲーム

ゲーム分野においては、ニンテンドーDSシリーズ向けWi-Fi対応ゲームソフトウェアからのロイヤルティ収入が当第3四半期も堅調に推移しました。また、発売が予定されている携帯型ゲーム機の新機種「ニンテンドー3DS」向けに従来機種との互換機能にかかるソフトウェア使用許諾料の一括売上もありました。

なお、当期以降につきましても、現行のニンテンドーDS向けWi-Fi対応ゲームに関しては、従来どおり継続してロイヤルティ収益を見込みますが、新機種に関する継続したロイヤルティ収益などの追加収益の予定はありません。

④ 組込みデータベース

平成22年11月に空間検索・全文検索機能をサポートした最新版であるUbiquitous DeviceSQL 5.0の発売を開始しました。売上高に関しては進捗に遅れが見えるものの、「Ubiquitous DeviceSQL」がデジタルカメラを中心に量産ロイヤルティを獲得し、売上高を計上しました。当社では、ますます高度化し、データも大容量化する組込み機器においては、複合的な検索条件にも柔軟かつ高速に対応できる組込みデータベースの重要性は、ますます増加すると予測しております。

⑤ デバイス高速起動分野での研究開発及び事業開発

「Ubiquitous QuickBoot（以下 QuickBoot）」については、数件のソフトウェア開発キット販売によるソフトウェア使用許諾料とソフトウェア受託開発料の売上高を計上しており、量産予定数量は小規模であるものの製品での採用が決定しました。また、平成22年11月には、組込みプラットフォームであるAndroidに対応した「Android Pack」の提供を開始し、エンジニアリングサービスでの協業体制も強化しております。

国内外より引き続き高い関心を頂き、数社との間で大・中規模案件の評価実装を継続中です。しかしながら、引き合いの拡大に伴い、対応すべき実装上の技術課題などが新たに発生し、収益化の進捗には遅れが見えます。

QuickBoot に関して数件の特許を申請しておりますが、将来競合技術が現れ競争力が減じる可能性があります。また、対象とする市場は形成されつつある新市場であり、その成長に予測困難性が伴います。当社はQuickBoot の将来性に期待しておりますが、市場動向によりましては、各社各案件対応により市場浸透が遅れる可能性や、QuickBoot がユーザー体験改善または待機電力削減に資する製品として広く受け入れられない可能性があります。

(3) 計画達成のための前提条件について

① 研究開発計画達成のための前提条件

正社員に関しては、計画を下回るエンジニア22名の体制となっておりますが、都度発生する技術要員ニーズに対しては、契約社員、派遣社員等により臨機応変に対応しております。引き続き、優秀なエンジニアの確保の為の活動を継続しています。

② 研究開発成果に対する評価・判断のポイント

平成23年3月期中に4件の新製品リリースを行う計画で、当第1四半期において2件の新製品をリリースしました。当第3四半期には以下の2つの新製品のリリースを行いました。

- ・Ubiquitous DeviceSQL R5.0
- ・Ubiquitous QuickBoot 「Android Pack」

これにより、計画の4件の新製品のリリースを達成しております。

③ 研究開発計画達成に重要な影響のあるライセンス契約など

当第3四半期において新規のライセンス契約締結はありません。

[業績目標に関する定性的情報等]

全世界において金融危機や景気後退、失業率の上昇等はますます深刻化しており、当社主要顧客である半導体メーカーや電機メーカーは依然厳しい経営環境に置かれています。これら顧客企業と予定しているプロジェクトが延期または中止になった場合には、当社業績に影響が出る可能性があります。

また、当社が挑むユビキタス・ネットワーク市場は、未だ形成の初期にあり、その成長に予測困難性が伴います。当社は、現出しつつあるこの市場で他社に先駆けて優れた技術や製品を投入し、先行してシェアを獲得する考えですが、市場の形成そのものに不確実性が伴うことは避けられません。

さらに、携帯ゲーム分野に対する依存度は依然高水準にあります。その依存度をさらに低下させ、安定した事業ポートフォリオを形成するために、本格的に稼働を始めたデータベース事業をさらに成長させ、前事業年度中に販売を開始した「Ubiquitous QuickBoot」を次なる事業の柱となるよう投資育成しておりますが、携帯ゲーム分野への依存度が高いまま当該事業が不調になると会社業績に大きな影響を与えます。

上記のような様々なリスクが存在しますが、現時点では平成 22 年 5 月 21 日発表、平成 23 年 2 月 4 日修正の当期事業計画については達成可能と考えております。

平成 22 年 5 月 21 日開示

「平成 23 年 3 月期～平成 25 年 3 月期 マイルストーン開示に係る事業計画について」

平成 22 年 11 月 12 日開示

「平成 23 年 3 月期～平成 25 年 3 月期 マイルストーン開示に係る事業計画の修正について」

平成 23 年 2 月 4 日開示

「平成 23 年 3 月期～平成 25 年 3 月期 マイルストーン開示に係る事業計画の修正について」

以 上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。